

# 働く人の心理を読み解き、企業の施策に活かす - 理論と実践の橋渡し -

人間系 教授 岡田 昌毅

働く人への心理支援開発研究センターは、働く現場の「心の理解」「働く人への支援」「指導・支援する人材の高度化」へのニーズの高まりに応え、個人や組織が力を十分に発揮するために何が必要なのかを皆さまでとともに考えるワンストップでのサービス提供拠点です。



最先端の「知」を、最前線に。

## 働く人への心理支援開発研究センター

[T-One ラボ]

### ● コンサルティングユニット

企業との共同研究・学術指導の推進、働く人への心理支援に関する研究の成果を社会に還元

- 例・人事施策検討のための調査研究
- ・働く人への支援サービスの検討、効果検証
  - ・働く人の心理尺度開発 など

共同研究・学術指導先企業：  
情報通信、銀行、製造、建設、運輸、サービス業など

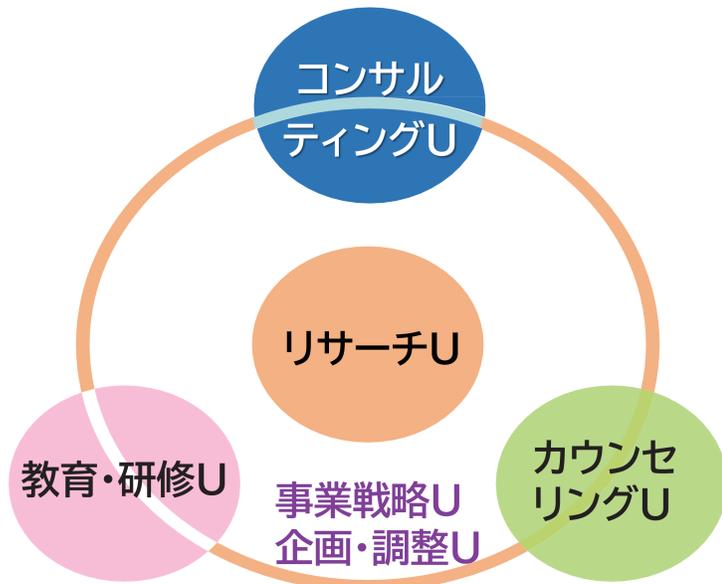


Fig. 1 サービス内容

### ● リサーチユニット

働く人への心理支援に関する研究の推進(公的外部資金、特別共同研究事業、大型科研)

### ● 教育・研修ユニット

専門職者等を対象とした研修開発・実施、教育効果検証、リカレント教育の開発・実施

### ● カウンセリングユニット

ライフキャリア相談室運営、スーパービジョン

## 共同研究事例

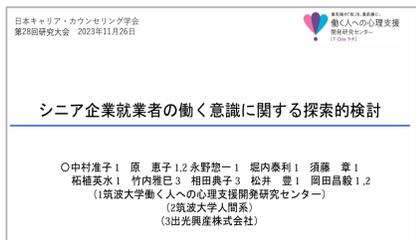
企業の  
メリット

- ・自社の特徴や実態を客観的な視点や方法で把握できる
- ・エビデンスを元にした議論、検討ができる
- ・知見を社会に還元できる など

### シニア企業就業者の働く意識に関する検討

本研究は出光興産株式会社と共同で実施しています。

【目的】シニア層就業者を中心とした施策検討のため、その実態を把握する。【方法】シニア層従業員にインタビュー調査(質的調査)及びWeb調査(量的調査)を実施し、働くことに関する意識や行動を尋ね分析した。



※日本キャリア・カウンセリング学会 第28回研究大会(2023年11月26日)にて発表

- 「健康が維持できるなら、出来る限り働き続けたい」(65.8%)
- 「今の自分がどこまで通用するのか不安だ」(38.5%)
- 「会社で働くことで成長していきたい」(66.6%)
- 「仕事で成果をあげていきたい」(82.1%)
- 「組織の中で自分の位置づけが不明確で働きづらい」(21.0%)
- 「DX化に対応できるか不安だ」(23.1%)
- 「チームワークへの貢献を心掛けている」(74.9%)
- 「若手・後輩の話を丁寧に聞くようにしている」(70.7%)

就業継続への意欲と不安、組織への貢献意欲や行動、成長意欲、不明瞭な立ち位置不安やDXへの不安が明らかになった。

### 働く人の悩みの整理をサポートするツールの効果検証

本研究は日鉄ソリューションズ株式会社と共同で実施しています。

【目的】悩みを整理するサポートツールの効果を検証する。

【方法】ツール利用者・非利用者との比較及び時系列分析により、悩みの整理の度合いや辛さの度合いを検証した。



※日鉄ソリューションズ株式会社HPIにおけるプレスリリース(2024年4月18日)

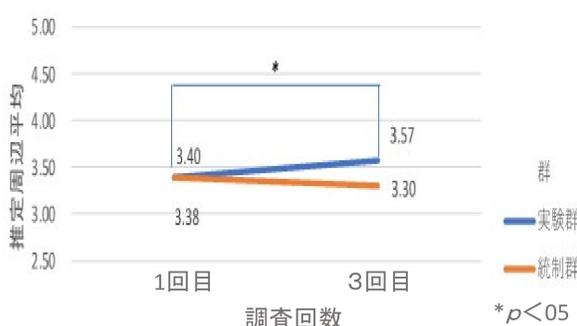


Fig.2 悩みの整理度合いの変化

【結果】ツール利用前と、利用後約2か月後の比較を行った結果、ツールを利用しているグループは利用していないグループに比べて統計的に有意に「悩みが整理される」「悩みの辛さが軽減される」ことが示唆された。